

家庭の友

7
2023

特集
モンテッソーリ教育の魅力

モンテッソーリ教育の精神と活動

(イエズス会司祭) 柴田 潔

私とモンテッソーリ教育

(株)フューチャーフロンティアーズ 窪谷麻理

乳幼児期の発達に即したコスミック教育の重要性について

(社会福祉法人NUA 愛知保育園園長) 村田尚子



サンパウロ

私とモンテッソーリ教育

(株)フューチャーフロンティアーズ
窪谷 麻理

モンテッソーリ教育との 出会い

私は、最初に勤務したカトリック幼稚園で、モンテッソーリ教育と出会いました。「愛をもって教育しなさい。イエス・キリストが人に仕えるために、この世に來られたように、私たちがこの世にいるのも、生徒たちに仕え、愛するためなのです」という、修道女会創立者の「教育に対する勧め」の教えを基に、同年齢で過ごす一斉保育の幼稚園でした。

数年後、モンテッソーリ教育を取り入れたいと、園長が東京国際モンテッソーリ教師トレーニングセンター(以下、センター)夜間部に通い、国際トレーナーであられる松本静子先生(以下、静子先生)に学び始められました。

町田の街を修道女のベールをなびかせながら、駅から自転車で通われたお姿は、当時の学



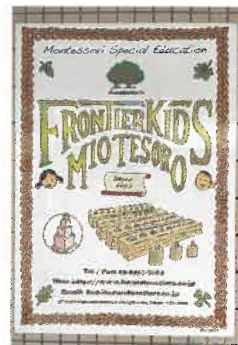
生の間では有名な話です。職員

は園内研修/夏季短期研修会等で学び、モンテッソーリ教育の理論を基に子どもたちを援助しました。同年齢の横割りクラスから異年齢が共に過ごすモンテッソーリ教育縦割りクラスへの変更は、大変なことのように感じましたが、保護者の理解もあり、スムーズに移行できました。

その後も私なりに、モンテッソーリ教育を学んでおりましたが、教具の提供だけではなく理論をもっと深めたいと、センターで学ぶ決心をしました。勉



葛西園



事業所の看板

の多さ、教具製作等に追われる毎日は大変でした。学生同士で助け合い、一緒に取り組みました。同期生のシスターに誘われて修道院を訪問し、泊まりがけで課題をこなしたのも懐かしい思い出です。

卒業後もセンター同窓会委員として現在も関わっており、来年(二〇二四年)夏に行われる「創立五十周年記念行事」の準備に取り組んでいます。静子先生は現在、名誉センター長となられ、三年前から教え子の三浦勢津子先生が教師の養成、トレーニングをなさっています。四月にオランダで行われた「国際モンテッソーリ協会(以下、AMI)年次総会」に参加なさった際、卒業試験官として来日したことがあるトレーナーから、「センターが創立五十周年にな

ること、同窓会のサポートも羨ましい」とお声をかけられたそうです。卒業生として、とても嬉しいエピソードです。

保育士として、 子どもたちに携わる

長年勤務していた幼稚園を退職した後、もっと低年齢の子どもたちの成長を援助したいと希望し、モンテッソーリ教育とグローバル教育を取り入れ、幼児教育学童の垣根を超えた施設運営をしている「(株)フューチャーフロンティアーズ」の保育園に勤務することになりました。

開所時間が朝の七時から夜の八時までと長く、朝晩の子ども人数が少ない時間は、〇歳から六歳と一緒に過ごす合同保育です。〇歳児クラスの子どものちも、大きい子どもたちの遊びをじっと観て近づき、手を出します。年上の子どもたちは、鼻水が出ている子の鼻を拭いてあげる、泣いている子の頭を優しく撫でる等……子ども同士の育ちを感じる時間です。

クラス担任としてではなく、モンテッソーリ教育の観点から、子どもと職員の援助をしています。子どもは強制されると自分の意志を持ってなくなり、自立した行動が取れるかどうかで人生の喜びが変わります。子どもにも困っている様子が見られてもすぐに手を出さず、自ら育つ子どもの力を信じ、尊重して接するよう職員に伝えました。

子どもたちと過ごす毎日の中で、三〜六歳の前段階の大切さを痛感し、〇〜三歳のモンテッソーリ教育についても学びたいと願うようになり、弊社の資格取得支援制度を利用し、時短勤務で働きながら、AMIあきる



グローバルスクール



葛西園



上馬園

野モンテッソーリトレーニングコースで学びました。コロナ禍で、トレーナーのサラ・ブレイディ先生がオーストラリアから来日不可能となり、オンラインで授業が行われました。オーストラリ

アと通訳者、事務局、各学生がインターネットで繋がり、すごい時代になったと実感しながら受講しました。〇歳〜三歳のコースは、モンテッソーリ教育の実践だけではなく、子どもの発達と

の多さ、教具製作等に追われる毎日は大変でした。学生同士で助け合い、一緒に取り組みました。同期生のシスターに誘われて修道院を訪問し、泊まりがけで課題をこなしたのも懐かしい思い出です。

援助方法を学び、受精から始める人間の命の神秘、尊さを改めて感じました。自身の人生を振り返る、良い機会でもありました。

その後、系列園でモンテッソーリ活動が適切に行われているか、月に何回か巡回チェックを担当することにになりました。その中で、配慮が必要な園児が増えていくことを感じました。近年の調査研究によると、発達障がい児が幼稚園、保育所、学校等に多数在籍していることが明らかにされ、年々増加傾向にあると示唆されています。モンテッソーリ教育は、医師であり教育者であるマリア・モンテッソーリ博士が障がい児教育を行ったのが始まりです。弊社でも療育が必要な子どもへの支援のため、児童発達支援事業所を立ち上げました。私も、モンテッソーリ教師として携わっています。「私の大切な人」(ミオテゾーロ)という意味のイタリア語を使い、事業所は「フロンティアキッズミオテゾーロ」と名付けられました



た。未来を生きる子どもたちが、自分の可能性を信じ、伸ばし、自己実現を可能とするとともに、地球を大切に、グローバルに活躍することができるように、心と身体を育てることが理念です。

旧約聖書『創世記』に、「神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった」(創1・31)と書かれています。その言葉通り、極めて良い存在である子どもの一人ひとりの違いを受け止め、周りの環境と関わりながら、自立心と自己肯定感(非認知能力)が持てるよう支援したいと思います。

モンテッソーリ教育の学び

モンテッソーリ教育は、教師



資格取得からスタートし、日々「新しい子ども」として姿を見せる子どもに合わせ、援助します。そのため、教師も更新する必要があります。

AMIは時代に合わせ、子どもへの最善の教具の提供法等をトレーナー会議で話し合い、更新していきます。今年度はセンターでも、以前、提供されていたものから更新されたものを中心に学ぶ資格保有者限定「リフレッシャー・ワークショップ」が



学童クラブ

行われています。対面でのワークショップは有意義で、参加者同士の交流の場にもなっています。

障がい児教育についても、日本モンテッソーリ発達支援研究センター付属「モンテッソーリ初級支援者コース」で学び始めました。

恩師である静子先生や江島正子先生に倣い、モンテッソーリ教育の学びは一生続くことを実感しています。